

私たちは、健康で豊かな社会の実現に貢献します
Towards realization of healthy and prosperous society

* 新型コロナウイルスの保管や配送状況の様様



2023年3月期（第14期） 第1四半期（4-6月） 決算補足説明資料

2022年8月2日

株式会社 バイタルケーエスケーホールディングス

©VITAL KSK HOLDINGS, INC.

当資料は、株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスの2023年3月期（第14期）第1四半期（4-6月）の決算補足説明資料です。

2022年8月2日にリリースした四半期決算短信と合わせてお読みください。

1 2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

まず、2023年3月期 第1四半期の決算ハイライトです。

2023年3月期 第1四半期（4-6月） 損益概況

単位：百万円、%

	2023年3月期 4-9月 業績予想		2023年3月期 4-6月 実績				2022年3月期 4-6月 実績	
	金額	売上比	金額	売上比	前年比	進捗率	金額	売上比
売上高	284,000	-	143,521	-	100.4	50.5	142,916	-
営業利益	1,200	0.42	452	0.32	119.8	37.7	377	0.26
経常利益	2,500	0.88	1,198	0.84	112.3	47.9	1,067	0.75
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,700	0.60	640	0.45	99.4	37.6	644	0.45

当期4-6月の業績につきましては、売上高は前年比100.4%の1,435億円、営業利益は前年比119.8%の4億5千万円、経常利益は前年比112.3%の12億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年比99.4%の6億円となりました。

当期4-9月の業績予想に対する売上高の進捗率が50%を超えた一方で、営業利益における進捗率が37.7%となった要因は、2022年4月の薬価改定に伴う前期末在庫の新旧仕切価差額に関わるマイナスの会計処理の影響が予想外に大きかったからです。

2023年3月期 第1四半期（4-6月）セグメント別利益

商品別販売伸長率

医療用医薬品	99.9%
試薬医療機器	107.2%
一般用医薬品	94.0%

単位：百万円、%

	医薬品卸売事業 ※1			薬局事業 ※2		動物用医薬品卸売事業 ※3		その他事業 ※4	
	実績	売上比	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
売上高	135,193	-	100.3	4,481	101.0	2,657	102.9	1,189	106.2
売上総利益	8,850	6.55	106.4	1,165	97.0	440	106.4	933	99.6
販管費	8,461	6.26	105.4	1,150	99.1	321	104.9	1,002	102.0
営業利益	389	0.29	133.7	14	36.5	118	110.7	▲69	-

※1：バイタルケーエスケー・ホールディングス、バイタルネット、ケーエスケー

※2：オオノ、グッドネイバー、健康堂薬局

※3：アグロジャパン

※4：農薬卸売業、介護事業等

※5：セグメント間の販管費調整額の記載を省略しているため、セグメント別の販管費と営業利益を合計しても前頁の合計額に一致しません。



©VITAL KSK HOLDINGS, INC.

4

次に、セグメント別利益についてご説明いたします。

まず医薬品卸売事業は、主に病院市場への医療用医薬品（主に新薬創出加算品）の販売が伸長したものの、2022年4月の薬価改定（薬剤費ベースで6.69%の引き下げ）等により医療用医薬品の販売伸長率が99.9%、新型コロナウイルス感染症関連の医療機器や臨床検査試薬等の販売増により試薬医療機器の販売伸長率が107.2%となったため、売上高は前年比100.3%の1,351億円となりました。売上総利益は、前頁で触れたとおり、薬価改定に伴う前期末在庫の新旧仕切価差額に関わるマイナスの会計処理による影響が予想以上にあったものの、高利益商品の販売増等により前年比106.4%の88億円となりました。販管費は、賞与引当金の積み増し等により前年比105.4%の84億円となりました。以上の結果、営業利益は前年比133.7%の3億9千万円となりました。

薬局事業は、地域のかかりつけ薬局を目指し、薬局機能の強化に努めた結果、売上高は前年比101.0%の4,481百万円、営業利益は、薬価のマイナス改定の影響により前年比36.5%の14百万円となりました。

動物用医薬品卸売事業は、高利益商品の販売増により、売上高は前年比102.9%の26億円となりました。物流費の増加等により販管費も増えましたが、営業利益は前年比110.7%の1億1千万円となりました。

その他事業は、農薬卸売事業の販売が好調だったものの、スポーツ関連施設運営事業等の業績が振るわず、売上高は前年比106.2%の1,189百万円、セグメント損失（営業損失）は69百万円（前年同期は45百万円のセグメント損失）となりました。

2023年3月期 第2四半期累計期間（4-9月）業績予想

単位：百万円、%

	2023年3月期 4-6月 実績		2023年3月期 7-9月 見込		2023年3月期 4-9月 見込	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	143,521	-	140,479	-	284,000	-
営業利益	452	0.32	748	0.53	1,200	0.42
経常利益	1,198	0.84	1,302	0.93	2,500	0.88
親会社株主に帰属する 四半期純利益	640	0.45	1,060	0.75	1,700	0.60

7-9月は、公費助成対象の子宮頸がんワクチンや帯状疱疹ワクチン、加えて、秋から冬にかけて大流行が予想されるインフルエンザワクチンの納入が進むことで4-6月の進捗の遅れを挽回できると予想しています。

当初予想から変更なし

当期7-9月では、「2023年3月期 第1四半期（4-6月）損益概況（P3）」でご説明した前期末在庫が消化されマイナスの会計処理が解消することに加え、今夏、需要増が見込める各種ワクチン（上記スライドを参照）販売に注力することなどにより、4-9月の業績予想の各利益を達成出来る見込みでございます。

以上より、2023年3月期第2四半期累計期間（4-9月）の業績予想は、売上高2,840億円、営業利益12億円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する四半期純利益17億円から、変更ございません。

2 株主還元の更なる強化

次に、株主還元の更なる強化についてです。

自己株式の取得

資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実施するため、下記概要にて自己株式を取得

(1) 取得日	2022年6月22日
(2) 取得した株式の総数	1,455,200株
(3) 株式の取得価額の総額	998,267,200円
(4) 取得方法	東証の自己株式立会外買付取引

まず、2022年6月22日に、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引により1,455,200株、取得価額総額998,267,200円の自己株式の取得を行いました。

当社は、今後も資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実施するため、適時、自己株式の取得について検討してまいります。

総還元性向の推移

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 見込
年間配当金	24.0円	12.0円	26.0円 (特別配当2円を含む)	24.0円
自己株式取得	140万株 (1,498百万円)	-	200万株 (1,559百万円)	145万株 ^{※1} (998百万円)
連結配当性向	28.8%	56.4%	29.6%	27.6%
総還元性向	61.0%	56.4%	62.0%	49.8%

※1 2022年6月22日実施。当期間内における追加の自己株式取得については、経営環境を適切に見極め検討。

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題と位置付け、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標としております。直近の3か年においては、連結配当性向25%以上、総還元性向も60%前後となっております。

今後も、本業での安定した利益の創出はもちろん、資本効率を高めた経営を実践し、株主の皆様への一層の還元に努めてまいります。

政策保有株式の更なる縮減

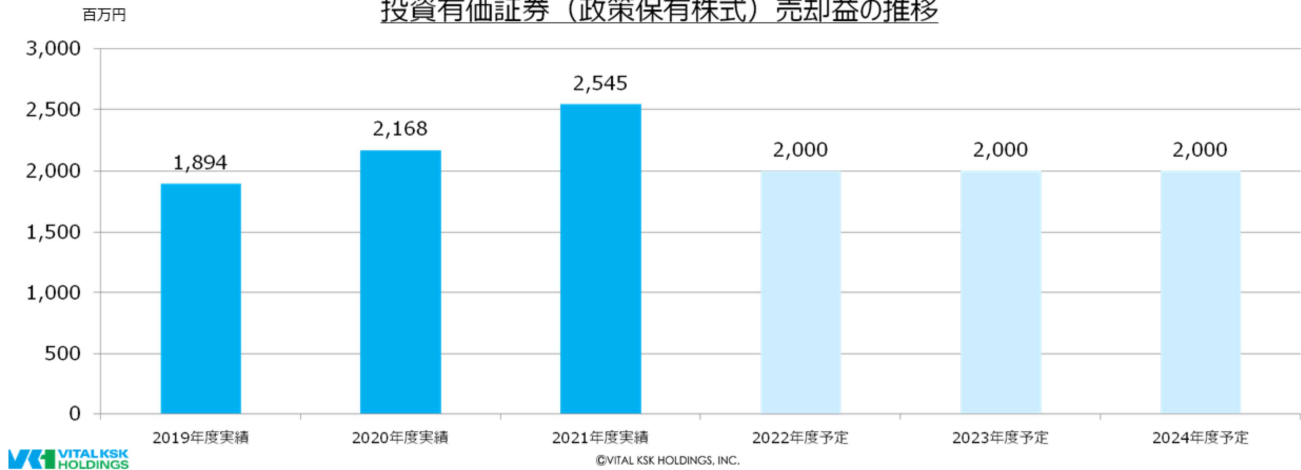
第4次中期経営計画（2019–2021）

- ・毎期、平均して20億円前後の売却益を計上する処分を実施
- ・年度によっては、その一部を原資にして増配を行った

第5次中期経営計画（2022–2024）方針

- ・毎期、売却益ベースで**最低20億円以上**の処分を実施
- ・改訂コーポレート・ガバナンス・コードの趣旨に沿う対応を継続

投資有価証券（政策保有株式）売却益の推移



当社では、2019年から2021年度における第4次中期経営計画期間において、毎期平均して20億円前後の売却益を計上する政策保有株式の処分を進めてまいりました。年度によっては、その売却益の一部を原資にして増配を行っております。

2022年から2024年度にわたる第5次中期経営計画期間においても、改訂コーポレート・ガバナンス・コードの趣旨に則り、毎期売却益ベースで最低20億円以上の政策保有株式の処分を引き続き実施してまいります。

将来見通しに関わる記述事項

本資料で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績はこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを、ご承知おきください。

従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際にこれらの見通しのみで全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本資料に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したりこれらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてお願いいたします。

将来見通しに関わる記載事項は、ここに書かれてある通りでございます。

お問い合わせ先

株式会社 **バイタルケーエスケー・ホールディングス**

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-3275-3301

Mail : ir@vitalksk.co.jp

担当 : 佐藤、南城

当説明資料の内容に関するお問い合わせ先は、当社コーポレートコミュニケーション部までご連絡くださいますようお願いいたします。